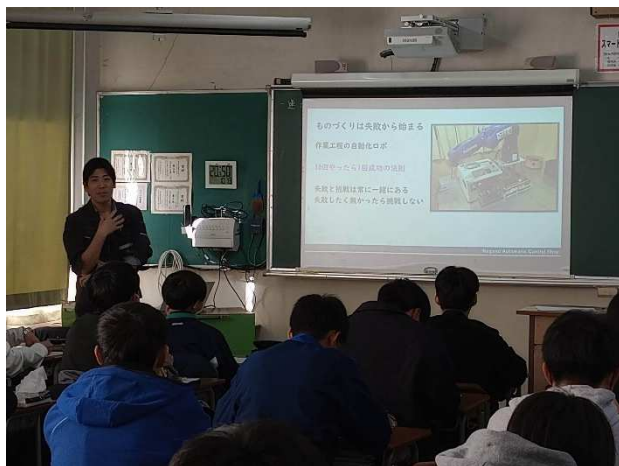


## DX 企業講話 株式会社キッツメタルワークス 様



### 講師

株式会社キッツメタルワークス  
(株式会社 KEYENCE)  
長谷川 様

### 講話内容

- ・会社概要、事業内容、製品開発内容
- ・3D スキャナの紹介、デモンストレーション など

### 学生のワークシートから抜粋

#### 【企業についてわかったこと等】

- ・3D スキャナーを作っている。
- ・3D スキャナ・AI や光によって複雑な形をした物でも簡単にスキャンすることができる。スキャンした物は、長さや幅などを 1/1000 まで測れる。
- ・(3D スキャナは) 医療でも、耳の形をとる時などに使われる。
- ・3D スキャナ型三次元測定機：トヨタなどの企業が部品の精度を図るために使用される。AI を導入してスキャンのサポートをしている。
- ・CAD データや、fbx や、obj に書きだすことができる。
- ・回転してスキャンすることにより 360° どこを見てもきれいにうつるようになっている。
- ・スキャナーの光は黒を吸収してしまうのでスキャンできない
- ・黒色や、透明の物等だと、スキャンされないのので、色のつくスプレーをかけ、スキャンする。

#### 【感想】

- ・3D スキャナの内部は見えないけれど、外側はしっかり長さや幅もはかれて、とても便利な機械だなと思いました。私もこのような機械を使って仕事をしてみたいなと思いました。
- ・見た目のインパクトと、本体の値段に差があってびっくりした。

- ・3D スキャナで、自分の手を読み取ってもらったけど、少しのシワなども細かく見えるので、かなり驚いた。
- ・3D スキャナは瞬時にどんなものでも読み取れるのがすごくて、興味深かったです。使い道によって面白い使い方ができそうでおもしろかったです。
- ・AI を使って作業効率を上げ、正確な測定が誰でも簡単にできることがすごいなと思った。
- ・3D スキャナは誰でも簡単に使うことができて便利でいろんなことに使えて、これからどんどん使われていくんじゃないかと思いました。
- ・3D スキャナは人の手など生物までスキャンできることに驚いた。耳の形などをとれば、自分用のイヤホンを作ったりと、とても高性能だからこそできることも広がり、汎用性も高いのだと感じた。
- ・3D スキャナと聞いてハンディで持ってスキャンをするというのが一番初めに思いついたが、このスキャナは精度もものすごいが、データ化するところや長さがわかる所など技術力がすさまじいと思った。
- ・日本にこんなすごい機械を作る企業さんがあることにとてもおどろいた。これからの産業でどんどん実用化が進んでいくといいと思った。そしてこのような機械をあつかえる技術者の進化も大切だと思う。
- ・3D スキャナについてはある程度知っていたのですが、今回見せてもらったのは色までしっかり認識して $\mu\text{m}$  単位まで測定されることに驚き、感動しました。
- ・この3D プリンターがあれば、製造業の人に役立つと思った。